

なぜ

多様な動植物を活かした土産がない？

岐阜県は、釣りや登山などを楽しめる自然の豊かさが大きな魅力で、多くの動植物が暮らす環境は大切な地域資源となっています。ところが、その「岐阜の自然」を活かした土産物は少なく、今まではアユや鵜飼いを題材にしたものがほとんどでした。

本セミナーでは、大学の専門家と企業が協力し、岐阜の自然を活かした新しいお菓子やグッズづくりについて、市民や企業の皆さんと一緒に考え、プロジェクトの立ち上げを目指します。

日時 2026年3月31日 13時~16時

場所 岐阜大学 TOIC岐阜サイト
(OKB岐阜大学プラザ)

対象 自然に関する商品開発に関心のある
企業、研究者、一般市民



参加費無料 当日参加もOKですが事前に連絡いただくと幸いです

連絡先 岐阜大学地域科学部 向井貴彦
mukai.takahiko.k0@f.gifu-u.ac.jp
なるべく電子メールもご利用ください
電話の場合は058-293-3027(研究室直通)



プログラム

13:00~13:15 開会挨拶・趣旨説明
岐阜大学地域科学部教授 向井貴彦

13:15~14:15 話題提供

いきものクッキーアート専門店 kurimaro collection 栗田こずえ氏
HIDA OUTDOOR FREAKS・日本ウガイ協会 竹本 純氏
道の駅 和良(和良の郷総合開発株式会社) 加藤真司氏
長良川デパート(NPO法人ORGAN) 河口郁美氏

14:15~14:45 ティーブレイク(いきものクッキー試食)

14:45~16:00 総合討論(商品開発戦略会議)

主催: ぎふ保全生物学研究会(代表 岐阜大学地域科学部 向井貴彦)
共催: ぎふライチョウ保全研究会

ぎふの『生きもの商品』開発 公開セミナー

岐阜の自然や動植物の魅力伝える定番土産を開発しよう!